

公布ニ照準シ經伺ノ上施行セシモ採藻稅等ニ至
リテハ慣例ノ據ルベキナシ故ニ各業ノ狀ヲ查シ
漁網稅點築稅並點切川稅額ハ舊縣稅ヲ參酌シ賦
課ノ見込ヲ以テ其制限ヲ定メ客歲既ニ八月九日
申十日
令八月聽許アリシニ由リ施行方法取調中ナルニ本
年十三第十七号公布第三條ノ趣モアリ規則取調
縣會ニ附シ別冊之ノ通決議ハ此他網漁配繩ノ如
キヲ以テスルノ游漁者ニ限り營業者ニ同シク別
冊之規則第十五條ノ稅額ヲ徵收セント亦縣會ノ
議決ニ由リ皆共ニ施行方允許アリクシ
原議 本件ヲ查スルニ不都合ノ廉無之ニ付聽許セラ
レ可然ト會計部協議ノ上高裁ヲ仰ク
御指令按

伺、通

部議 審査ノ上該部意見ヲ可トス

受_三。辦五月廿六日
八月廿五日決

○大分縣士族投産ノ為メ資本金貸下ノ件

内務省稟議 大分縣下舊三藩士族ハ投産資金貸與
ノ申請詮議中今般更ニ管下舊八藩ノ内養蠶製茶ノ
二業ニ實蹟アル舊中津竹田臼杵杵築佐伯ノ士族ニ對
シ之ガ資金ヲ貸與シ他ハ追テ自奮ノ氣象ヲ顯ハス
ノ日ニ於テ再申スル所アラント縷陳ノ旨趣ヲ考フ
ルニ該地方タル養蠶ニ適シ繭絲共ニ全國中等ノ品
位ヲ占メ而カモ年々追テ旺盛ノ況ナリ又天然ノ
椀樹ニ富ミ年々無量ノ茶葉徒ニ廢物トナルノ憾ア

女

ルヲ以テ製茶ノ業ヲ起スハ至當ナリトス曩キニ
勸農局該縣下^{大野郡}ニ紅茶傳習所ヲ設ケ之ヲ獎勵
ス必盛ヲ將來ニ期スベキナリ故ニ今マ此二業ヲ擴
張セハ特リ士族ノ就産ノミナラズ國家ノ裨益モ亦
少ナシトセザルモ資ニ乏シキヲ奈何ニ是ヲ以テ官
債ヲ仰ク亦事情已ムヲ得サルモノナリ今マ金額ノ
都合ヲ計リ爰ニ投産資本トシテ全管士族ノ為メニ
金四萬田ヲ該縣ニ貸下スベキノ詮議ヲ以テ先方今起業
實蹟アル舊五藩士族ニ對シ金三萬田ヲ貸下シ他^他
^{田連}ハ追テ成業ノ目途立ツノ日ニ於テ舊三藩士
族ニ貸與スルモノトセン依テ本年ヨリ五ヶ年据置
六ヶ年目ヨリ年三步ノ利ヲ付シ向五ヶ年賦返納ノ
定メヲ以テ起業基金ノ内ヨリ金三萬田ヲ該縣ニ委

托シ實際ノ情況酌量ノ上適宜ニ處分シ且篤ク看護
シテ實効ヲ奏セシメン依テ至急裁可ヲ乞フ

大分縣申牒^{之略}

原議 本件ヲ查スルニ舊八藩ノ内現今養蚕製茶ノ事
業ニ従事セル舊中津外四藩士族ニ對シ先ツ金三萬
田ヲ貸下シ其他三藩ニハ漸次事業着手ニ當リ金壹
萬圓ヲ貸下セントノ旨ナリ抑蚕茶ノ業ハ該縣ノ地
質ニ適スベク而シテ其監督保護專ラ縣廳ニ於テス
ルモノナレハ事業ハ素ヨリ鞏固ニシテ亦他日國益
ノ一端トナラン且返納ノ方法不當ナル所ヲ見ス依
テ聽許セラレ可然ト會計部協議ノ上高裁ヲ仰ク

御指令按

伺ノ趣聞届候事

女

通牒

會計検査院
大蔵省

部議

審査ノ上談部意見ヲ可トス

受_{三九}九_九辨_{三九}全_{三九}決

○石川縣士族招附水製造資本金拜借ノ件

内務省稟議

石川縣下金澤區士族岡田雄巢等同族

授産ノ為メ夙トニ一社ヲ設ケ招附水製造ノ業ヲ起
シ三百餘名ノ貧士族ヲシテ之ニ從事セシメタルニ
試験方ノ為メニ費ヤス所アリテ七千九百餘圓ノ負
債ヲ生ズ今製品漸ク良好ニ至リ販路モ亦開ケタル
ニ負債ノ償却方ニ困シニ金壹万圓ノ拜借ヲ出願セ
シヲ以テ縣官ニ於テ将来維持ノ目途等ヲ糾シ懇諭
ノ末社中協議シテ雄巢外三拾餘名右負債償却ノ責

ヲ負擔シ更ニ營業上ノ目途ヲ立テ資本トシテ金四
千圓ヲ拜借セント出願ス其事タル現ニ貧窶士族ヲ
シテ夫々就業セシムルノ主旨ナレバ相當ノ抵當品
ヲ徵サシメ特ニ起業基金ノ内ヨリ之ヲ貸下シ本年
七月ヨリ三ヶ年間無利子置据四ヶ年目ヨリ年三分
ノ利ヲ附シ五ヶ年賦毎五月限返納セシムン因テ書
類_之一併添附御裁可ヲ請フ

石川縣申牒

之

原議

本件ヲ按スルニ窮士族授産ノタメ三百餘名結
社シテ既ニ工業ニ從事シ製品漸ク良好ニ赴キ隨
テ販路モ開ケタルニ際シ前ニ費ヤス所負債トナリ
目下之ガ償却ニ困シムヨリ資金_{四千}ノ拜借ヲ請願
ス是レ必需ノ資金ニシテ該社ノ興廢ニ関スルモノ